

研修国（フィリピン共和国）概要



一般事情

- 1.面積 299,404平方キロメートル（日本の約8割）
7,109の島々がある
- 2.人口 約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
- 3.首都 マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
- 4.民族 マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
- 5.言語 国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。
80前後の言語がある。
- 6.宗教 ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教が10%。イスラム教は5%（ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上）。
- 7.平均寿命 男性69.5歳、女性73.9歳（フィリピン国家統計局）
- 8.識字率 95.6%（2008年調査フィリピン国家統計局）

地図出典：フィリピン政府観光省

出典：外務省ホームページ

経済

- 1.主要産業（出典：フィリピン国家統計局）
農林水産業（全就業人口の約27%が従事）（2016年1月）
近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）産業を含めたサービス業が大きく成長（全就業人口の約56%が従事）（2016年1月）
2. GDP（億米ドル）（出典：IMF）
2015年 2,920米ドル
- 3.一人当たりGDP（米ドル）（出典：IMF）
2015年 2,858米ドル
- 4.経済成長率（%）（出典：フィリピン国家統計局）
2015年 5.8%
- 5.物価上昇率（%）（出典：フィリピン国家統計局）
2015年 1.4%
- 6.失業率（%）（出典：フィリピン国家統計局）
2015年 6.3%
- 7.総貿易額（億米ドル）（FOBベース。フィリピン国家統計局）
2015年 (1)輸出：586.5米ドル (2)輸入：666.9米ドル
- 8.貿易品目（出典：フィリピン国家統計局）
(1) 輸出：電子・電気機器（半導体が大半を占める）、輸送用機器等
(2) 輸入：原料・中間財（化学製品等の半加工品が大部分）、資本財（通信機器、電子機器等が大部分）、燃料（原油等）、消費財
- 9.貿易相手国・地域（出典：フィリピン国家統計局）
(シェア順) (1) 輸出（2015年）日本（21.1%）、米国（15.0%）、中国（10.9%）、香港（10.6%）、シンガポール（6.2%）
(2) 輸入（2015年）中国（16.2%）、米国（10.8%）、日本（9.6%）、台湾（7.9%）、シンガポール（7.0%）

歴史

年月	略史	年月	略史
14～15世紀	イスラム教が伝わり、フィリピンで初のイスラム王国であるスルー王国誕生	1965年	マルコス大統領就任
1521年	マゼランのフィリピン到着	1972年	戒厳令布告
1571年	スペインの統治開始	1986年	2月革命によりコラソン・アキノ大統領就任、マルコス大統領亡命
1898年	米西戦争。6月12日、アギナルド将軍が独立を宣言 12月10日、米西パリ講和条約調印。米の統治開始。	1992年	ラモス大統領就任
1935年	独立準備政府（コモンウェルス）発足	1998年	エストラダ大統領就任
1942年	日本軍政開始	2001年	アロヨ大統領就任
1946年	7月4日、フィリピン共和国独立	2010年	ベニグノ・アキノ3世大統領就任
		2016年	ドゥテルテ大統領就任

研修日程

日数	日付	曜日	内容	宿泊先
1	7月30日	日	東京発 マニラ着	マニラ
2	7月31日	月	JICA フィリピン事務所にてブリーフィング	
			アジア開発銀行訪問	
3	8月1日	火	ドロップインセンター（認定 NPO 法人アイキャンの事業地で路上の子ども達の通所型保護施設）訪問	
			協同組合 KALYE（認定 NPO 法人アイキャンの事業地で路上の子ども・若者達の共同組合）訪問	
			子どもの家（認定 NPO 法人アイキャンの事業地で路上の子ども達の保護施設）訪問、宿泊	
4	8月2日	水	子どもの家にてボランティア活動	
			パヤタスごみ処分場（認定 NPO 法人アイキャン事業地）にて住民組織（PICO）によるごみ処分場の解説、家庭訪問、フェアトレード団体（SPNP）訪問	
5	8月3日	木	移動（マニラ発 タクロバン着）	タクロバン
			タナワン市役所にて市長及び防災担当より台風ヨランダの被害や復興について説明	
			山田隊員（青年海外協力隊/小学校教育）配属先・タナワン第2小学校訪問	
6	8月4日	金	新井隊員（青年海外協力隊/障害児・者支援）配属先・パロ第一中央小学校特別支援センター訪問	
			フィリピン教育省レイテ州事務所にて担当者より台風被害の復興支援、防災教育について説明	
			中間振返り	
7	8月5日	土	特定非営利活動法人いしのみき NPO センターの JICA 草の根技術協力事業地にて工場や牡蠣養殖事業実施サイトを視察	タクロバン
			サンタクルス村にて住民より台風被害について説明、家庭訪問	
8	8月6日	日	移動（タクロバン発 マニラ着）	マニラ
			スペイン統治時代からの歴史を伝える建物などが残る、イントラムノス訪問	
9	8月7日	月	ドン・アレハンドロ・ロセス科学技術高等学校訪問	
			JICA フィリピン事務所にて研修振返り	
			ユニカセ・コーポレーション訪問	
10	8月8日	火	マニラ発 東京着	—

海外研修の様子

海外研修の様子を写真とコラムで振り返ります。

コラムでは各曜日ごとに担当を決め、参加の先生方に研修内容や訪問先、学んだこと、感じたことなどを記載頂きました。

海外研修 2017年7月30日（日）～8月9日（水） 場所：フィリピン共和国

7月30日（日）

NH869にて東京/羽田空港からマニラ/ニノイ・アキノ国際空港へ

7月31日（月）



JICA フィリピン事務所訪問。

フィリピンおよびフィリピンにおける JICA 事業について説明を受けました。



アジア開発銀行訪問。

フィリピンにおける事業概要、フィリピン経済の動向や課題等について意見交換を行いました。

8月1日（火）



路上の子ども達の保護施設・ドロップインセンター（認定 NPO 法人アイキャン事業地）訪問。
同センターで子ども達と絵を描いたり、一緒に歌を歌ったりするなどして交流しました。



路上の子ども達の保護施設・子どもの家（認定 NPO 法人アイキャン事業地）訪問。
子ども達を共に簡単な制作などで交流しました。

8月2日（水）



パヤタスのゴミ処分場（アイキャン事業地）訪問。
住民組織（PICO）より処分場の背景や生活環境について説明を受けました。



フェアトレード団体（SPNP）による団体説明や活動の視察、実際に作成した手作りの商品の説明を受けました。

8月3日（木）



マニラ→タクロバンへ移動。
タナワン市役所を訪問し、市長と防災担当から台風ヨランダによる災害規模や緊急対応の様子、また復旧のプロセスについて説明を受けました。



山田隊員（青年海外協力隊/小学校教育）の所属先タナワン第2小学校を訪問し、防災教育や算数の授業をアシスタントティーチャーとしてサポートしました。

8月4日（金）



新井隊員（青年海外協力隊/障害児・者支援）の所属先であるパロ第1中央小学校特別支援センターを訪問しました。



教育省レイテ州事務所訪問。
災担当から台風被害に対する復興支援、防災教育について説明を受けまし

8月5日(土)



特定非営利活動法人いしのまき NPO センターの JICA 草の根技術協力事業地である牡蠣養殖サイトを視察しました。



サンタクルス村訪問。
住民から台風被害に遭った時の様子など説明を受けました。

8月6日(日)

スペイン統治時代からの歴史を伝える建物などが残る、イントラムノスを視察しました。

8月7日(月)



ドンアレハンドロロス科学技術高等学校訪問。
学校側より学校理念やカリキュラムの説明を受けました。



同校にて研修参加者による数学の授業や日本から持ってきた手紙の交換などを実施しました。

8月8日(火)



JICA フィリピン事務所にて、研修の振り返りと今後の授業構成について報告しました。



ユニカセ・コーポレーション訪問。
代表より企業の概要や目的、歩みなどの説明を受けました。

8月9日(水)

NH5334にてマニラ/ニノイ・アキノ国際空港から東京/羽田空港へ